

調査結果からの課題と 今後の方向性について

1 アンケート調査(町民・職員)

【防災、消防・救急】

- 防災、消防・救急の重要性は、町民にも職員にも一致して高いことから、注力していく分野と言える。
- 町民の災害時の情報入手方法として、携帯電話・スマートフォン、防災メールの利用率が高まっており、これらの活用に注力する必要がある。

【医療・交通・買物】

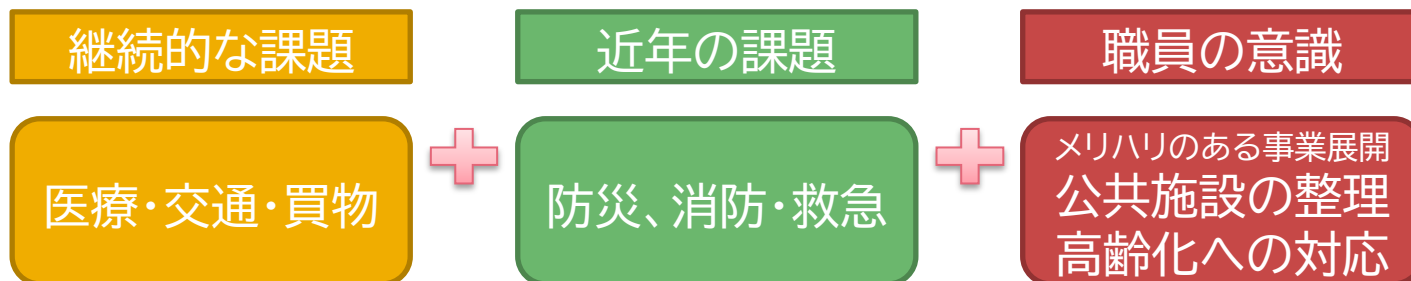
- 町民・職員ともに「地域医療体制の充実」と「交通機関の利便性の向上」は重要なのに満足されていない項目であり、重点的に取り組む必要のある項目と言える。
- 町民の不満(転出を考える理由)は、前回同様、買物、医療、渋滞が上位であり、継続的な課題となっている。

【SDGs】

- SDGsは認知度の高まりがうかがえ、一層の認知度向上と、総合計画と連動した取り組みが今後の課題と言える。
- 中でも、町民、職員ともに、「11住み続けられるまちづくりを」、「3すべての人に健康と福祉を」、「8働きがいも経済成長も」が上位3項目であり、「13気候変動に具体的な対策を」も視野にいれながら、これらの項目を主眼において、取り組むことが課題と言える。

【職員意見】

- 職員による施策提言では、公共施設の整理、メリハリのある事業選択、高齢化を意識した観光や医療、などの提言があったことから、後期基本計画の立案の中で検討が必要と言える。



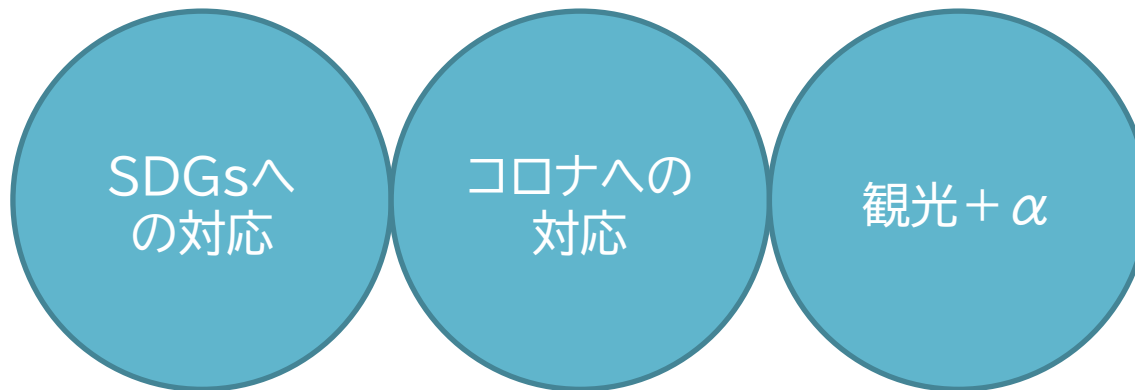
2 関係団体ヒアリング

【進めたい取り組み】

- 人命か観光か、環境か観光か、生活か観光か、ではなく、どこからでもSDGsが感じられるショールームのような役割が果たせないか。(観光DMO)
- アフターコロナを見据え対応を考えるが、まだまだウイズコロナとして経営を立て直していかなくては、ならない状況が喫緊の課題。(箱根温泉旅館ホテル協同組合)
- 任意団体からNPO化を進め、移住者を増やし、町の人口を増やしていきたい。(ハコネスティル)
- 買い物課題に対応したコミュニティバスの検討、個の支援から地域支援へ。(社会福祉協議会)

【町への要望や提案】

- 都会と同じ子育て機能を持つのではなく、ネイティブの外国人と会話できたり、最先端のマーケティングに触れられたりする町となってはどうか。(観光DMO)
- 宿泊業に対する資金援助の充実を。(箱根温泉旅館ホテル協同組合)
- 役場と関わりのない人には、役場が何をやっているか伝わっていない。もっとやっていることをPRしてもよいのではないか。(ハコネスティル)
- 空き家を活用した移住促進と地域住民が集える居場所づくりが必要ではないか。(社会福祉協議会)



3 町長の意向

1 新型コロナウイルス対策

- ・新しい日常の取り組みに国・県と連携して取り組む
- ・生活、雇用、経営に困窮している実態を把握する窓口を設け支援策を講じる

2 町民の暮らし第一のまちづくり

- ・医療・福祉・介護の満足度を高める
- ・仕事を続けながら安心して子育てができるまちを目指す
(小中学校の給食費無料化、放課後児童クラブの時間延長・休日対応・内容充実)
- ・多様な生涯学習プログラムの設置、箱根教育の深化・推進を図る
- ・消防団員確保、詰所・装備の充実させる
- ・防災・減災(土砂災害や火山防災に関する勉強会の開催)

3 ブランドカアップ

- ・インフラ整備(道路や上下水道など)、公衆トイレ、消防救急体制などを充実させる
- ・オンリーワンの観光地に向けて、関連団体との連携を強化する
- ・観光関連従事者の待遇改善による雇用拡大、従業員・経営者の所得向上を図る

4 持続可能な町政運営

- ・公共施設の統合・再編・適正配置、民間活力の導入を推進する
- ・行政改革アクションプランの推進や既存事業の見直し、職員の適正配置などを進めるとともに、本町にとって効果的かつ実現可能な財源確保策を検討する
- ・財政調整基金積み上げ目標額を30億円とする

新型コロナウイルス対策

町民の暮らし第一のまちづくり

ブランドカアップ

持続可能な町政運営

4 調査結果の総括

町民の暮らし第一のまちづくり

継続的な課題

近年の課題

医療・交通・買物

防災、消防・救急

- ・34の施策を通じて実施していくべきもの
- ・それぞれの取り組みに調査結果からみえる課題解決に向けた方向性や取り組みを記載
- ・観光と町民の暮らしの相互作用の説明やバランスが重要

ブランド力アップ

観光 + α



- ・ブランド力の高い「観光」はもちろんのこと、あらゆる分野で磨くことができるもの
- ・「環境先進観光地」であることから、環境によい取り組みを提案

持続可能な町政運営

職員の意識

メリハリのある事業展開
公共施設の整理
高齢化への対応

SDGsへの
対応



- ・「基本目標6 行政の効率的経営と官民協働体制の強化」に位置付けられるもの
- ・限りある財源をどう有効活用するか検討が必要
- ・SDGsは的を絞った展開でのスモールスタートを提案

新型コロナウイルス対策

コロナへの
対応

- ・「基本目標6 行政の効率的経営と官民協働体制の強化」に位置付けられるもの
- ・町民、事業者、観光客など一丸となって乗り越えたい
- ・時限的であっても1項目として扱うことを提案



5 第6次総合計画の基本的な考え方

前期計画

箱根町が目指してきたもの

「やすらぎとおもてなしのあふれる町ー箱根」

- ◎国際観光地箱根
- ◎健康都市宣言
- ◎環境先進観光地
- ◎はこね教育等

直近の重点的な取り組み

- ①防災力の強化
- ②若者の定住促進
- ③健康生活の推進
- ④ブランド力の強化
- ⑤オリパラ関連事業



後期計画

箱根町が目指していくもの

「やすらぎとおもてなしのあふれる町ー箱根」

- ◎国際観光地箱根
- ◎健康都市宣言
- ◎環境先進観光地
- ◎はこね教育等

直近の重点的な取り組み

- ①防災力の強化
- ②若者の定住促進
- ③健康生活の推進
- ④ブランド力の強化
- ⑤持続可能な町づくり



6 後期基本計画での変更点

後期計画

箱根町が目指していくもの

「やすらぎとおもてなしのあふれる町ー箱根」

- ◎国際観光地箱根
- ◎健康都市宣言
- ◎環境先進観光地
- ◎はこね教育等

直近の重点的な取り組み

- ①防災力の強化
- ②若者の定住促進
- ③健康生活の推進
- ④ブランド力の強化
- ⑤持続可能な町づくり

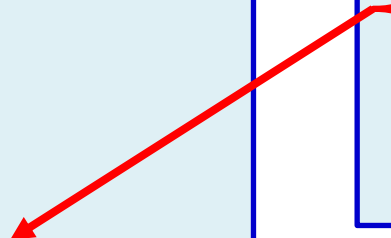
基本目標6 行政の効率的経営と
官民協働体制の強化

施策33 協働のまちづくりの推進

施策34 計画的な行財政運営

施策35 SDGsの推進

施策36 コロナ対策の推進



7 箱根町はSDGs・コロナ対策の何を重点にするか？



あらゆる場所のあらゆる形態の貧困を終わらせる



すべての人々の、安価かつ信頼できる持続可能な近代的エネルギーへのアクセスを確保する



気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる



飢餓を終わらせ、食料安全保障及び栄養改善を実現し、持続可能な農業を促進する



包摂的かつ持続可能な経済成長及びすべての人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用（ダイセクトワーク）を促進する



持続可能な開発のために海洋・海洋資源を保全し、持続可能な形で利用する



あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する



強靱（レジリエント）なインフラ構築、包摂的かつ持続可能な産業化の促進及びイノベーションの推進を図る



陸域生態系の保護、回復、持続可能な利用の推進、持続可能な森林の経営、砂漠化への対処、ならびに土地の劣化の阻止・回復及び生物多様性の損失を阻止する



すべての人に包摂的かつ公正な質の高い教育を確保し、生涯学習の機会を促進する



各国内及び各国間の不平等を是正する



持続可能な開発のための平和で包摂的な社会を促進し、すべての人々に司法へのアクセスを提供し、あらゆるレベルにおいて効果的で説明責任のある包摂的な制度を構築する



ジェンダー平等を達成し、すべての女性及び女児の能力の強化を行う



包摂的で安全かつ強靱（レジリエント）で持続可能な都市及び人間居住を実現する



持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化し、



すべての人々の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を確保する



持続可能な生産消費形態を確保する

トップダウンで決められないか？ or ワークショップで決めてよいか？